

第 27 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会  
プログラム・抄録集

会 期 : 教育研修会 平成 21 年 2 月 12 日 (木)  
学 会 13 日 (金)  
14 日 (土)

主 催 : 千葉大学大学院 医学研究院  
耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学教室  
会 長 岡本 美孝

会 場 : 三井ガーデンホテル千葉  
〒260-8626 千葉市中央区中央 1-11-1  
TEL : 043-224-1131

## 御挨拶

千葉大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学：岡本美孝

第27回学術総会を担当させていただく岡本です。私は、この学会の前身の研究会の発足当時はまだ大学院生でしたが、この会に参加してこれまで多くのことを学んで参りました。当時に比べて「免疫・アレルギー学」は日進月歩で発展しており、かつその進歩の度合いは年々加速しています。この学問の進歩は耳鼻咽喉科免疫・アレルギー学会の発表内容にも大きく寄与してきています。

しかし、本学会もこれからは大きな転機を迎えようとしていると思います。免疫・アレルギー研究の手法は現在では領域を超えて、微生物学のみならず、生理学、生化学、鼻科学、耳科学でも広く用いられるようになり一般化しています。一方で「免疫・アレルギー学」の進歩は、基礎と臨床との隙間を広げて、特に臨床医からは研究と乖離しているとの指摘もあります。学問には夢、ロマンがあり、その魅力は何物にも代えられないものと思いますが、国内の臨床医を取り巻く環境の変化も大きく、若い医師の教育、指導のあり方も見直されています。次世代を担う若い医師は臨床でのより高い知識、技量を目指し、社会からもそのことを強く求められていくようになるのではないのでしょうか。目の前の疾患の解決を目指すことにこそ、研究は必要なのですが、もし「知的なゲーム」として捉えられるようになっては耳鼻咽喉科の研究の裾野が広がることは無いと思います。そのためには発想を変えて、耳鼻咽喉科の中での免疫・アレルギー学の方向性を考えるよりも、むしろ免疫・アレルギー学の中での耳鼻咽喉科医のあり方を考えることが我々のこれからの発展につながるのではないかと、本学会もそのような視点での運営を目指したいと考えています。その中心の1つはやはり耳鼻咽喉科が扱い、得意とする局所の粘膜の免疫・アレルギーです。学会のパネルディスカッションではいま一度鼻、咽頭、中耳、口腔といった局所の粘膜免疫学とその臨床での応用について十分な討議を行い、今後の粘膜免疫学の発展にいかにか我々耳鼻咽喉科医が寄与していけるのかを確認出来ればと思います。粘膜免疫学の父といわれ、上気道にも造詣が深いPL Ogra教授にも特別講演をお願いし、パネルでの討論にも参加して戴きます。粘膜免疫学の現状、問題点、将来展開について地に足の着いたホットな討論が行われるよう皆様のご期待に沿えればと考えています。

その他の特別企画として、学会1日目には調節性T細胞、癌分子標的と早期バイオマーカーについてお二人の先生に教育講演をお願いしておりますが、いずれも喘息治療、消化器癌治療で臨床の第一線でも活躍されていらっしゃる先生方です。スポンサードレクチャーでは国立感染研究所の横田恭子先生にウイルス感染に対する免疫応答、ワクチン開発についての最新の現状を伺います。3

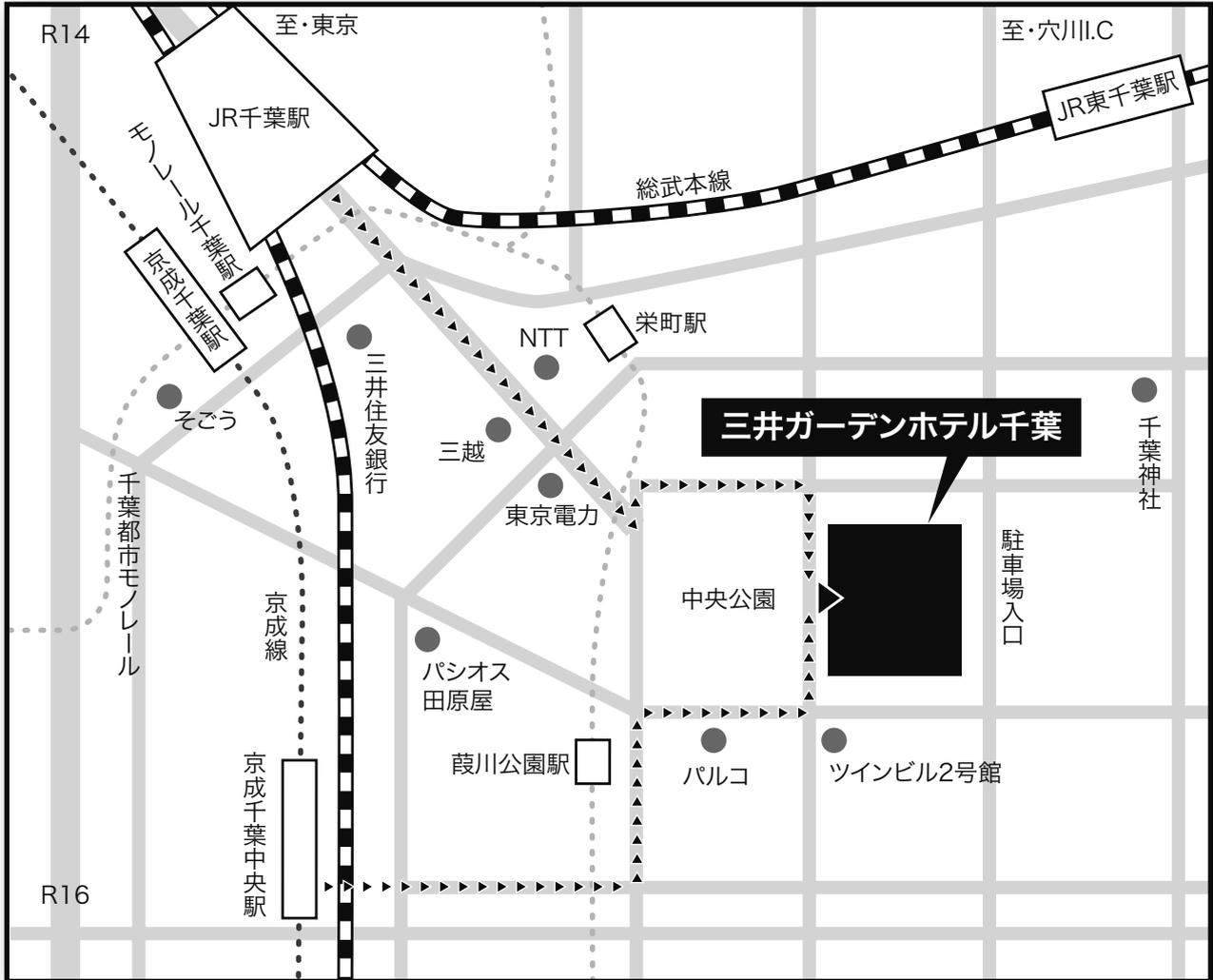
日目の朝のセミナーではストレスと免疫について産業医科大学精神病態学の永田頌史先生のご講演を、シンポジウムではアレルギー性鼻炎に対する免疫治療の最新の知見のご報告と討議をお願いしております。

今回、90題近い演題を御応募いただきましたが、本学会の原点に戻るということで、1会場での口演、時間をかけた発表と質疑を行うことを原則としました。そのため、プログラム委員の先生方にこのような口演にふさわしいと考えられる演題を指定口演として選択していただきました。ただ、選択に当たりましては本学会の領域も考慮して決定していただいておりますので、そのことをご了承いただければ幸いです。また、学会員の **motivation** の向上を目的に、口演発表、ポスター発表（口演ポスター、ポスター発表含む）後に優秀賞を選考することになっています。

2月は多くの地域では「真冬」ですが、千葉市から少し足を伸ばせば、南房総では早春を彩るお花畑や、豊富で新鮮な魚介類を満喫出来ます。木更津の海に伸びるアクアラインやぽっかり浮かんだ海ほたる、言うまでもない東京ディズニーランドも近く、学会終了後も充実した時間を過ごしていただけるものと思います。

皆様の御参加を心よりお待ちしております。

# 会場案内



## 三井ガーデンホテル千葉

〒260-8626 千葉市中央区中央1-11-1  
TEL 043-224-1131 FAX 043-224-1156

### 電車

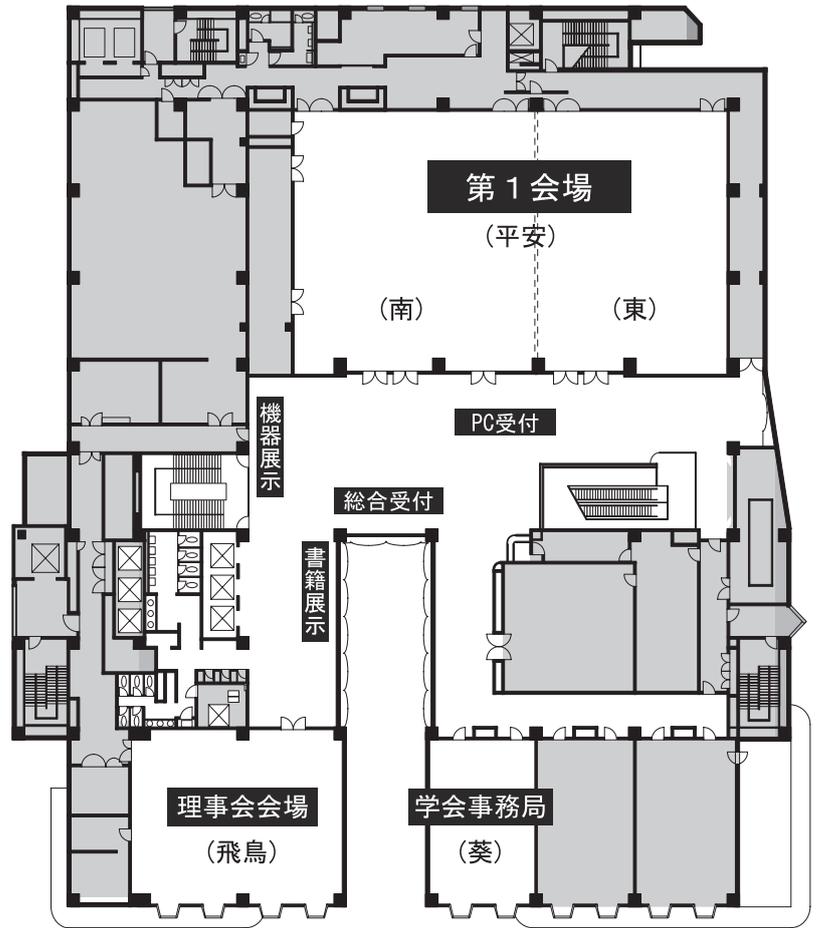
JR「千葉」駅東口より徒歩7分  
京成千葉線「千葉中央」駅より徒歩5分  
千葉都市モノレール1号線「葭川公園」駅より  
徒歩2分

### 車

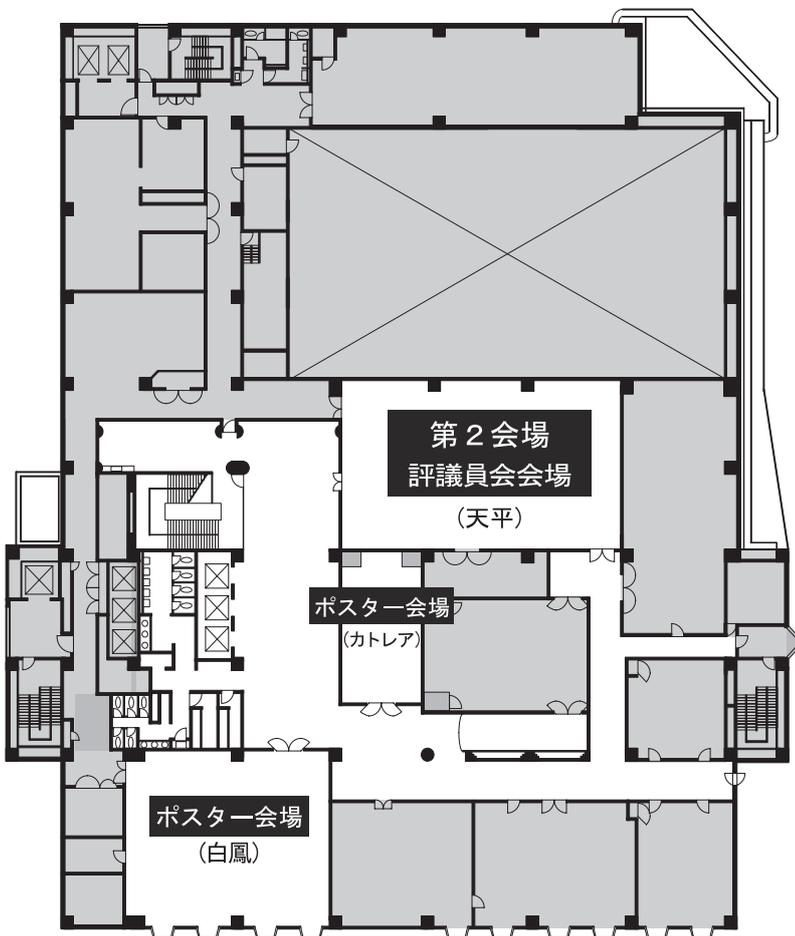
京葉道路「穴川.C」より15分



# 3F



# 4F



三井ガーデンホテル千葉  
3F・4Fフロアーガイド

## 皆様へのお願いとお知らせ

### 【宿泊案内】

宿泊案内は学会ホームページ (<http://jiao.umin.jp/27th/>) にてご案内しています。

### 【参加者の皆様へ】

- 1) 参加受付は、3階 総合受付にて行います。総合受付にて参加費 10,000 円をお支払いのうえ、ネームカード兼領収証をお受け取り下さい。学会期間中、会場内ではネームカードを必ずご携帯下さい。
- 2) ご来場の際には、本プログラム・抄録集をご持参下さい。
- 3) 日本耳鼻咽喉科認定専門医の方は、「学術集会参加報告票」とともに「専門医証 (ID カード)」を必ずご持参下さいようお願い致します。参加受付の際に「学術集会参加報告票」の提出と「専門医証 (ID カード)」のご提示をお願いすることになりました。総合受付にある「専門医証 (ID カード)」受付にてお手続き下さい。
- 4) 会員懇親会を 2 月 13 日 (金) 19:30 より、3 階平安の間にて開催致します。皆様ご参加下さい。会員懇親会費は参加費に含まれます。
- 5) 演者および共同発表者は本学会会員に限ります。非会員の方は至急入会手続きをお取り下さい。入会についてご不明の点は下記事務局にご連絡下さい。なお、学会当日も総合受付にある学会事務局にて新入会手続きを行っております。

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局  
〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入  
中西印刷(株)NACOS 学会フォーラム内  
Tel : 075-415-3661 Fax : 075-415-3662  
E-mail : [jiao@nacos.com](mailto:jiao@nacos.com)

### 【演者の方へ 発表方法のご案内】

今学会での発表形式は下記 3 形式で行ないます。

それぞれご作成いただく発表資料や口演時間に違いがございますのでご注意ください。

#### 1. 指定口演発表者の皆様へ

口演は、Power Point による PC スライドのみとさせていただきます。

口演時間 8 分間、質疑応答時間 7 分間です。時間厳守をお願いします。

#### 2. ポスター口演発表者の皆様へ

口演は、Power Point による PC の発表とポスター展示をご用意下さい。

口演は第 1 会場で行ない、口演時間は 3 分間、質疑応答時間 2 分間です。

ポスターは下記の作成要領にそってお作り下さい。展示会場はポスター会場です。

#### 3. ポスター発表者の皆様へ

ポスターは下記の作成要領にそってお作り下さい。

ポスターディスカッションはポスター会場で行ない口演時間は 3 分間、質疑応答時間 2 分間です。

## PC スライド作成要領

発表の際は演台に設置しております操作キーボードを使って、演者ご本人により操作をお願い致します。オペレーターに操作を依頼希望の方は会場にて、事前に進行係にお伝え下さい。また、ご自身のパソコンを操作されることも可能です。

- (1) 発表に際しては Windows 版 Power Point でご準備下さい。USB フラッシュメモリー、PC 本体 (Windows) のいずれかをお持ち込み下さい。発表環境については後述を参照して下さい。必ず発表データを含んだ予備を持参して下さい。Macintosh 版 Power Point での発表を希望されるかたは、Macintosh PC 本体をお持ち込みの場合のみとさせていただきます。Windows Vista での発表は受付できません。
- (2) 発表の 1 時間前 (9 時からのセッションは 30 分前) までに PC 受付にて用意したチェックシートに必要事項を記入後、専門の PC オペレーター立ち会いのもと動作確認を行って下さい。
- (3) 下記ルールに基づいた PC 接続の標準環境のみをご用意致します。表現される画面の不具合についてはすべて演者の責任となりますのでご注意下さい。
- (4) PC 接続は外部出力端子が D-Sub-15pin です。PC の機種によっては外部出力端子が D-Sub-15pin 以外のものがございますので、必ず D-Sub-15pin で接続できるコネクタを各自ご持参下さい。Macintosh PC 本体をお持ち込みの場合は必ず D-Sub-15pin 接続コネクタをご持参下さい。
- (5) ご持参される PC での外部ディスプレイ出力が可能であることを必ずご確認ください。また、バッテリー切れを防ぐために電源アダプターをご持参下さい。
- (6) 当方での予備環境について

[1] OS : Windows XP (Windows Vista 不可)

[2] アプリケーション : Windows 版 Power Point 2003 ・ 2007

[3] 発表に使用できるデータ

Windows で作成した Microsoft Power Point のファイルのみとします。画面サイズは XGA (1024 × 768) になります。

Mac 版 Power Point やその他のアプリケーションで作成されたデータは、受け付けませんのでご注意ください。Mac 版 Power Point で作成したファイルを Windows 版の Power Point に変換した場合、データが正確に表現できない場合があります。上記環境の PC ですべての画面が不具合なく表現されることをあらかじめご確認のうえ、完成した形でお持ち下さい。Macintosh PC 本体をお持ち込みの場合のみ Mac 版 Power Point での発表が可能です。

[4] フォント

Windows XP (日本語版) に標準搭載されているフォントのみ使用可能です。

日本語 : MS ゴシック、MSP ゴシック、MS 明朝、MSP 明朝の 4 種類のみ。

英語 : Times New Roman、Arial、Arial Black、Arial Narrow、Century、Century Gothic、Courier、Courier New、Georgia の 9 種類のみ

これ以外のフォントを使用した場合、正確に表現できない場合があります。

### [5] データ容量

データの容量を、100MB（総量）までとさせていただきます。

### [6] 動画について

動画再生はできません。

### [7] 音声について

PCからの音声再生につきましては一切対応致しません。

### [8] メディアの持ち込み形式について

USBフラッシュメモリーのための受付とさせていただきます。CD、MOディスク、スマートメディア、SDカード、メモリースティック、コンパクトフラッシュ等のメディアによる受付は致しませんのでご注意ください。不測の事態に備えて、必ずバックアップデータをお持ちいただきますようお願い申し上げます。

### [9] データ名の統一について

持ち込まれるメディアには、当日発表されるデータ（完成版）以外のデータを入れないで下さい。また、データのファイル名には、演題番号に続けて発表者の氏名（漢字）、拡張子(.ppt)を必ずつけて下さい。（例 O-001 免疫太郎.ppt）

## 2. ポスター作成要領

ポスターのボードの大きさは縦 210cm×横 90cm を準備致します。

ポスターサイズの目安は

タイトル, 所属, 演者名 : 縦 20cm×横 70cm

発表内容 : 縦 190cm×横 90cm 以内となります。

- (1) ポスターの掲示は、2月13日(金) 午前9時より午前11時までの間に所定の演題番号が記載されたボードに掲示下さい。ポスター会場前の受付にて掲示用ピンを受け取り、所定の時間内に所定の場所に掲示して下さい。
- (2) ポスターは2月14日(土)11時20分から12時20分までの間に撤去して下さい。撤去の時間を過ぎても掲示してあるポスターは学会事務局にて処分致します。

## 3. 司会・座長の先生方へ

- 1) セッション開始30分前に各会場へお越し下さい。
- 2) タイムテーブルに従って各セッションをお進め下さい。定刻通りの進行をお願い致します。

### 【関連会議】

理事会	2月12日(木) 12:30~13:30	飛鳥
評議員会	2月12日(木) 13:30~14:30	第2会場「天平」
総会	2月13日(金) 13:15~13:45	第1会場「平安」

## お問い合わせ先

第 27 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会運営事務局

〒260-8670 千葉市中央区亥鼻1-8-1

千葉大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学教室

TEL : 043-226-2137 FAX : 043-227-3442

E-mail : [jjiao27th@4580.jp](mailto:jjiao27th@4580.jp)

### 【抄録用原稿提出のお願い（学会事務局からのお知らせ）】

指定口演・ポスター口演・ポスター発表の皆様の演題は耳鼻咽喉科免疫アレルギー誌：27 巻 2 号に掲載させていただきます。該当される皆様におかれましては抄録原稿を、発表当日受付にご提出下さい。なお、抄録の書式は本学会ホームページよりダウンロードできるよう準備しております。第 27 回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会ホームページ (<http://jjiao.umin.jp/27th/>) の「演者の方へ」ページ内「抄録原稿の提出について」にアクセスし、「抄録ひな型」および「原稿作成要領」ファイルをダウンロードして下さい。ダウンロードされた「抄録ひな型」ファイルに抄録を上書き入力し、原稿を作成して下さい。入力が終わりましたら電子媒体（フロッピーディスク、CD-R 等）に保存してご提出下さい。提出していただくものは以下のものです。

	プリントアウト	電子データ
本文	○	○
参考文献	○	○
図	○	(○)
表	○	○
写真	○	(○)

※電子媒体については、フロッピーディスク、CD-ROM、MO のいずれでも結構ですが、電子媒体をそのままご提出いただける状態でお持ち下さい。USB フラッシュメモリーでのデータのお持ち込みはできません。

※電子媒体には必ずラベルを貼り、演題番号・著者名・使用したコンピュータの OS の種類（Windows 98/2000/Me/XP, Mac OS 9/OS X など）・ソフト名とバージョン（Word 98/2000/2002 など）をご記入下さい。

※図、写真については、作業効率を高めるため、できるだけ電子データをご用意下さい。

### 抄録原稿提出についてのお問い合わせ先

日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会事務局（担当：石田恵奈美）

〒602-8048 京都市上京区下立売通小川東入 中西印刷(株)内

TEL: 075-441-3155 / FAX: 075-417-2050 / e-mail: [jjiao-ed@nacoss.com](mailto:jjiao-ed@nacoss.com)

第27回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表  
平成21年2月12日(木)

	第1会場 「平安」	第2会場 「天平」	理事会会場 「飛鳥」
8:00			
9:00			
10:00			
11:00			
12:00			
13:00			理事会 12:30-13:30
14:00		評議委員会 13:30-14:30	
15:00	教育研修会 15:00~16:00 IL-23-Th17細胞経路とアレルギー性気道炎症制御 中島裕史 (千葉大学大学院医学研究院 遺伝子制御学)		
16:00	教育研修会 16:00~17:00 血清IgG抗体を分子標的とした癌バイオマーカーの開発 島田英昭 (千葉県がんセンター消化器外科)		
17:00			
		グラクソ・スミスクライン 国際交流基金贈呈授与式 帰国報告 17:30~18:00 福山聡(ラホヤアレルギー免疫研究所)	
18:00	スポンサードレクチャー 18:00-19:00 ウイルス感染に対する生体防御機能とワクチン 横田恭子 (国立感染症研究所 免疫部)		
19:00		スポンサード 懇親会 19:00-20:30	
20:00			
21:00			

第27回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表  
平成21年2月13日(金)

	第1会場 「平安」	第2会場 「天平」	ポスター会場 「白鳳」/「カトリア」
8:00			
	開会の辞 8:25-8:30		
9:00	指定口演 : アレルギー1 8:30-9:30		ポスター
10:00	指定口演 : アレルギー2 9:30-10:30		
11:00	指定口演: 中耳 10:30-11:15		
	指定口演: 内耳: 顔面神経 11:15-12:00		
12:00	ランチョンセミナー(1) 12:10-13:10 喉頭アレルギーへの第2世代抗ヒスタミン薬の有効性 内藤健晴 (藤田保健衛生大学) スギ花粉症患者において第2世代抗ヒスタミン薬はなぜ重要か? 山田武千代 (福井大学)	ランチョンセミナー(2) 12:10-13:10 局所ステロイド薬の光と影 ~鼻噴霧用ステロイド薬~ 松崎全成 (山梨大学) 成人喘息における吸入ステロイド療法の光と影 谷口正実 (国立病院機構相模原病院)	
13:00	総会 13:15-13:45		
14:00	指定口演: 腫瘍 13:45-14:30		
15:00	指定口演: 感染症 14:30-15:15		
16:00	特別講演 15:30-16:20 P.L. Ogra		
17:00	パネルディスカッション 16:25-18:10 粘膜免疫と耳鼻咽喉科		
18:00	追悼 18:15-18:30		
19:00			
20:00	会員懇親会 19:30-21:00 講演優秀賞発表 ポスター優秀賞発表		
21:00			

第27回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会日程表  
平成21年2月14日(土)

	第1会場 「平安」	第2会場 「天平」	ポスター会場 「白鳳」/「カトレア」
8:00	モーニングセミナー 8:00-8:50 ストレスと免疫・アレルギー-脳・免疫連関の視点から 永田 頌史 (産業医科大学)		
9:00			
10:00	ポスター口演 9:00-12:10  腫瘍 鼻副鼻腔基礎 アレルギー基礎 アレルギー臨床1 アレルギー臨床2 症例等 感染症		ポスター発表 9:00-11:25  アレルギー基礎 アレルギー疫学 アレルギー臨床1 アレルギー臨床2 腫瘍、ほか
11:00			
12:00			
13:00	ランチョンセミナー(3) 12:30-13:30 上気道炎症とロイコトリエン 石戸谷 淳一(横浜市立大学附属市民総合医療センター) 下気道炎症とロイコトリエン 土肥 真(東京大学)		
	ポスター最優秀賞表彰		
14:00	シンポジウム 13:50-15:30		
15:00	閉会の辞		
16:00			
17:00			
18:00			
19:00			
20:00			
21:00			

## 第27回日本耳鼻咽喉科免疫アレルギー学会

### (および教育研修会) 演題予定

#### 教育研修会・教育講演 第1会場

2月12日(木) 15:00~16:00

「IL-23-Th17 細胞経路とアレルギー性気道炎症制御」

講師： 中島 裕史 (千葉大学大学院医学研究院 遺伝子制御学)

司会： 川内 秀之 (島根大学)

#### 教育研修会・教育講演 第1会場

2月12日(木) 16:00~17:00

「血清 IgG 抗体を分子標的とした癌バイオマーカーの開発」

講師： 島田 英昭 (千葉県がんセンター消化器外科)

司会： 藤枝 重治 (福井大学)

#### グラクソ・スミスクライン国際交流基金 贈呈授与式 第1会場

2月12日(木) 17:15~17:30

#### 帰国報告会 第1会場

2月12日(木) 17:30~18:00

「リンフォトキシンβ受容体による脾臓組織構築及び樹状細胞の制御」

講師： 福山 聡 (ラホヤアレルギー免疫研究所)

司会： 黒野 祐一 (鹿児島大学)

## スポンサードレクチャー 第1会場

2月12日(木) 18:00~19:00

「ウイルス感染に対する生体防御機能とワクチン」

講師： 横田 恭子 (国立感染症研究所 免疫部)

司会： 竹中 洋 (大阪医科大学)

## ランチョンセミナー1 第1会場

2月13日(金) 12:10~13:10

「喉頭アレルギーへの第2世代抗ヒスタミン薬の有効性」

講師： 内藤 健晴 (藤田保健衛生大学)

「スギ花粉症患者において第2世代抗ヒスタミン薬はなぜ重要か？」

講師： 山田 武千代 (福井大学)

司会： 大久保 公裕 (日本医科大学)

## ランチョンセミナー2 第2会場

2月13日(金) 12:10~13:10

「局所ステロイド薬の光と影 ～鼻噴霧用ステロイド薬～」

講師： 松崎 全成 (山梨大学)

「成人喘息における吸入ステロイド療法の光と影」

講師： 谷口 正実 (国立病院機構相模原病院臨床研究センター気管支喘息研究室)

司会： 原田 保 (川崎医科大学)

## 特別講演 第1会場

2月13日（金） 15:30～16:20

「Respiratory Tract Immune Functions and the Common Mucosal Immune System: An update on the Orchestra, the Players and their clinical implications.」

講師： Pearay.L. Ogra

Dept. of Pediatrics. School of Medicine, State University  
of New York; Women and Children's Hospital, Buffalo, NY.

司会： 山中 昇（和歌山県立医科大学）

## パネルディスカッション 第1会場

2月13日（金） 16:25～18:10

「粘膜免疫と耳鼻咽喉科」

司会： 氷見 徹夫（札幌医科大学）

岡本 美孝（千葉大学）

1) 「アレルギー性炎症の制御を目的とした粘膜免疫の臨床応用」

講師： 青井 典明（島根大学）

2) 「Mucosal immunity of tonsils and its relation to pathogenesis of tonsillar focal infection」

講師： 高原 幹（旭川医科大学）

3) 「中耳と粘膜免疫応答」

講師： 平野 隆（大分大学）

4) 追加発言：「癌ワクチン治療の効果増強を目的とした粘膜の利用」

講師： 堀口 茂俊（千葉大学）

## モーニングセミナー 第1会場

2月14日(土) 8:00~8:50

「ストレスと免疫・アレルギーー脳・免疫関連の視点から」

講師： 永田 頌史 (産業医科大学 産業生態科学研究所 精神保健学研究室)

司会： 荻野 敏 (大阪大学)

## ランチョンセミナー3 第1会場

2月14日(土) 12:30~13:30

「上気道炎症とロイコトリエン」

講師： 石戸谷 淳一 (横浜市立大学附属市民総合医療センター)

「下気道炎症とロイコトリエン」

講師： 土肥 眞 (東京大学大学院医学系研究科アレルギーリウマチ内科学)

司会： 今野 昭義 (総合南東北病院)

## シンポジウム 免疫療法はどこまで解明されたか 第1会場

2月14日(土) 13:50~15:30

司会: 増山 敬祐 (山梨大学)

Ruby Pawankar (日本医科大学)

1) 「食物アレルギーの積極的治療—Rush Specific Oral Tolerance Induction (rush SOTI)」

講師: 栗原 和幸 (神奈川県立こども医療センターアレルギー科)

2) 「当科における急速減感作療法の現状と問題点」

講師: 伊藤 加奈子 (大阪医科大学)

3) 「スギ花粉症に対する免疫療法の作用メカニズム」

講師: 岡野 光博 (岡山大学)

4) 「網羅的蛋白の結果から考える免疫療法の作用機序」

講師: 大澤 陽子 (福井大学)

5) 「スギ花粉症舌下免疫療法の有効性の検討と治療バイオマーカーの探索」

講師: 藤村 孝志 (千葉大学)

## 指定口演

2月13日(金) 8:30-9:30 アレルギー1 第1会場

座長：竹内万彦(三重大学), 竹野幸夫(広島大学)

0-1 SIRT1による肥満細胞のIL-4産生調節

中丸 裕爾、高木 大、前田 昌紀、福田 諭

北海道大学大学院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野

0-2 核内受容体PPAR- $\gamma$ を介したヒト鼻粘膜上皮細胞,

樹状細胞のタイト結合の調節機構:アレルギー性鼻炎の予防・治療のための基礎研究

小笠原 徳子<sup>1</sup>、小島 隆<sup>2</sup>、郷 充<sup>1</sup>、亀倉 隆太<sup>1</sup>、高野 賢一<sup>1</sup>、

大国 毅<sup>1</sup>、正木 智之<sup>1</sup>、澤田 典均<sup>2</sup>、氷見 徹夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室、

<sup>2</sup>札幌医科大学 病理学第2

0-3 マウスを用いたアレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法の治療効果および

作用メカニズムについての検討

頓宮 美樹<sup>1</sup>、山田 高也<sup>1</sup>、合田 薫<sup>2</sup>、清水 保彦<sup>2</sup>、佐野 千晶<sup>2</sup>、

川内 秀之<sup>2</sup>

<sup>1</sup>島根大学 総合科学研究支援センター 実験動物分野、

<sup>2</sup>島根大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室

0-4 乳酸菌におけるスギ花粉舌下免疫療法に対するアジュバンドとしての効果検討

稲嶺 絢子、堀口 茂俊、岡本 美孝

千葉大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学教室

**2月13日（金） 9:30-10:30 アレルギー2 第1会場**

**鈴木正志（大分大学），白崎英明（札幌医科大学）**

- 0-5 スギ花粉症患者のヒノキ抗原に対する末梢血単核細胞応答  
岡野 光博<sup>1</sup>、檜垣 貴哉<sup>1</sup>、牧原 靖一郎<sup>1</sup>、野宮 理恵<sup>1</sup>、春名 威範<sup>2</sup>、  
西崎 和則<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学、  
<sup>2</sup>住友別子病院 耳鼻咽喉科
- 0-6 スギ抗原特異的メモリーT（IL-4, IL-5, IL-10）細胞の季節変動について  
松岡 伴和、増山 敬祐  
山梨大学大学院 医学工学総合研究部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 0-7 スギ花粉抗原投与による IgE 産生機構—スギ花粉抗原投与による血中および  
末梢リンパ組織での IgE<sup>+</sup>細胞の誘導  
中西 仁美<sup>1</sup>、吉田 龍太郎<sup>2</sup>、平野 雅予<sup>1</sup>、東野 昌子<sup>1</sup>、  
紀本 有実子<sup>1</sup>、桜井 幹士<sup>1</sup>、窪田 隆裕<sup>2</sup>、竹中 洋<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪医科大学 耳鼻咽喉科、  
<sup>2</sup>大阪医科大学 生理学
- 0-8 当科における一側性副鼻腔炎 ESS 症例の検討  
—アレルギー性真菌性鼻副鼻腔炎に着目して—  
出島 健司、牛嶋 千久、倉谷 幸江  
京都第二赤十字病院 耳鼻咽喉科

**2月13日（金） 10:30-11:15 中耳 第1会場**

**原淵保明（旭川医大），保富宗城（和歌山県立医科大学）**

- 0-9 好酸球性中耳炎の中耳貯留液中の ECP・IgE 濃度と骨導閾値  
飯野 ゆき子、児玉 梢、白淵 肇、滝沢 克巳、金澤 丈治、太田 康  
自治医科大学 さいたま医療センター 耳鼻咽喉科

- 0-10 M. catarrhalis 由来中耳炎モデルでの Pili による TLR-5 の誘導と  
局所免疫応答の検討  
川野 利明<sup>1</sup>、平野 隆<sup>1</sup>、三井 孝広<sup>2</sup>、Ahmed Kamruddin<sup>2</sup>、  
西園 晃<sup>2</sup>、鈴木 正志<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大分大学 医学部 耳鼻咽喉科、  
<sup>2</sup>大分大学 医学部 感染分子病態制御講座

- 0-11 小児滲出性中耳炎における血管内皮増殖因子 (VEGF) の役割  
積山 幸祐<sup>1</sup>、松根 彰志<sup>2</sup>、黒野 祐一<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>総合病院鹿児島生協病院、  
<sup>2</sup>鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科学

**2月13日(金) 11:15-12:00 内耳・顔面神経 第1会場**  
**友田幸一(関西医科大学), 松原 篤(弘前大学)**

- 0-12 単純ヘルペスウイルス再活性化による顔面神経麻痺モデルにおける  
細胞性免疫の関与  
高橋 宏尚、脇坂 浩之、羽藤 直人、寺岡 正人、澤井 尚樹、  
暁 清文  
愛媛大学
- 0-13 内耳自己免疫病の短期予後  
富山 俊一<sup>1</sup>、荻原 望<sup>1</sup>、野中 学<sup>1</sup>、國友 万由美<sup>2</sup>、小津 千佳<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>日本医科大学多摩永山病院 耳鼻咽喉科、  
<sup>2</sup>大宮中央総合病院耳鼻咽喉科
- 0-14 蝸牛における音響障害後の炎症性サイトカインと熱ショック転写因子の  
発現の変化について  
中本 哲也、御厨 剛史、菅原 一真、山下 裕司  
山口大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野

**2月13日(金) 13:45-14:30 腫瘍 第1会場**

**吉崎智一(金沢大学), 近松一朗(山梨大学)**

0-15 頭頸部癌におけるTLRの発現と生物学的意義

能美 希、児玉 悟、鈴木 正志

大分大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

0-16 Snailを介したWntシグナル伝達によるがんの浸潤・転移の制御

太田 一郎、家根 旦有、細井 裕司

奈良県立医科大学 耳鼻咽喉・頭頸部外科

0-17 Natural Killer T細胞免疫系と血管成熟化因子Apelinを併用した  
複合免疫治療による抗腫瘍効果の検討

國井 直樹<sup>1</sup>、木戸屋 浩康<sup>2</sup>、高倉 伸幸<sup>2</sup>、中山 俊憲<sup>3</sup>、岡本 美孝<sup>1</sup>

<sup>1</sup>千葉大学大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学、

<sup>2</sup>大阪大学 微生物病研究所 情報伝達分野、

<sup>3</sup>千葉大学大学院医学研究院 免疫発生学

**2月13日(金) 14:30-15:15 感染症 第1会場**

**鈴木賢二(藤田保健衛生大学), 渡辺哲生(大分大学)**

0-18 インフルエンザワクチン皮下接種の局所免疫および

全身免疫に対する効果-経鼻粘膜ワクチン開発に向けた評価法の検討-

藤本 知佐<sup>1</sup>、武田 憲昭<sup>1</sup>、木戸 博<sup>2</sup>、澤淵 貴子<sup>2</sup>、品原 和加子<sup>2</sup>、

山口 美代子<sup>2</sup>、楊河 宏章<sup>3</sup>

<sup>1</sup>徳島大学、

<sup>2</sup>徳島大学 疾患酵素学研究センター、

<sup>3</sup>徳島大学病院 臨床試験管理センター

0-19 Phosphorylcholine (PC) 経鼻・舌下投与における免疫応答の相違点

田中 紀充、早水 佳子、宮下 圭一、福山 聡、黒野 祐一

鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科学

- 0-20 母体免疫による肺炎球菌特異的免疫応答の誘導と感染予防  
河野 正充、保富 宗城、葛原 敏樹、山内 一真、山中 昇  
和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科

## ポスター口演

2月14日(土) 9:00-9:30 腫瘍 第1会場  
平林秀樹(獨協医科大学)

- 0P-1 がん幹細胞を標的とする免疫療法  
廣橋 良彦<sup>1,2</sup>、鳥越 俊彦<sup>1</sup>、中津川 宗秀<sup>1</sup>、高橋 あかり<sup>1</sup>、  
井野田 智子<sup>1</sup>、佐藤 昇志<sup>1</sup>、山中 昇<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>札幌医科大学 医学部 第一病理、  
<sup>2</sup>和歌山県立医科大学 医学部 耳鼻咽喉科
- 0P-2 ヒト大腸杯細胞様細胞株 HT-29 MTX における杯細胞マーカーの発現  
中村 善久、濱島 有喜、鈴木 元彦、村上 信五  
名古屋市立大学 医学部 耳鼻咽喉科
- 0P-3 頭頸部扁平上皮癌における癌幹細胞の同定とその免疫学的解析  
近松 一郎、岡本 篤司、初鹿 恭介、高橋 吾郎、増山 敬祐  
山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- 0P-4 下咽頭扁平上皮癌における副刺激分子 B7-H3 発現の検討  
片山 昭公、坂東 伸幸、高原 幹、石井 秀幸、岸部 幹、  
東谷 敏孝、吉野 和美、原渕 保明  
旭川医大 医学部 耳鼻科
- 0P-5 鼻性NK/T細胞リンパ腫におけるCD70の発現  
吉野 和美、片山 昭公、岸部 幹、長門 利純、石井 秀幸、高原 幹、  
原渕 保明  
旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

- OP-6 鼻性NK/T細胞リンパ腫における metalloelastase の発現  
岸部 幹、長門 利純、吉野 和美、石井 秀幸、高原 幹、片山 昭公、  
坂東 伸幸、原渕 保明  
旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学講座

**2月14日(土) 9:30-9:55 鼻副鼻腔基礎 第1会場**  
**平川勝洋(広島大学)**

- OP-7 ヒト鼻粘膜における PPAR $\gamma$  の発現  
福井 奈緒子、本田 耕平、伊藤 永子、石川 和夫  
秋田大学
- OP-8 シンデカン-1、TGF- $\beta$  および FGF-2 の鼻粘膜における発現について  
呉 奎真、竹野 幸夫、平川 勝洋  
広島大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- OP-9 ヒト下鼻甲介粘膜と鼻茸における GR $\alpha$  と GR $\beta$  受容体の発現と局在  
白崎 英明、金泉 悦子、氷見 徹夫  
札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科
- OP-10 鼻副鼻腔炎における粘膜上皮細胞のトロンビンレセプターの役割について  
清水 志乃、星 恵理子、瀬野 悟史、清水 猛史  
滋賀医科大学 医学部 耳鼻咽喉科
- OP-11 副鼻腔炎病態の相違による鼻茸組織の Periostin 分布について  
塩野 理<sup>1</sup>、石戸谷 淳一<sup>1</sup>、佃 守<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>横浜市立大学附属 市民総合医療センター 耳鼻咽喉科、  
<sup>2</sup>横浜市立大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

**2月14日(土) 9:55-10:25 アレルギー基礎 第1会場**  
**大久保公裕(日本医科大学)**

OP-12 Short interference RNAによるアレルギー反応の制御

鈴木 元彦、中村 善久、尾崎 慎哉、村上 信五  
名古屋市立大学大学院 医学研究科

OP-13 気道アレルギー性炎症の成立における転写因子 Id2 の役割

森倉 一朗<sup>1,2</sup>、福山 聡<sup>2,3</sup>、國澤 純<sup>2</sup>、長竹 貴広<sup>2</sup>、合田 薫<sup>1</sup>、  
川内 秀之<sup>1</sup>、清野 宏<sup>2</sup>

<sup>1</sup>島根大学 医学部 耳鼻咽喉科、

<sup>2</sup>東京大学 医科学研究所 炎症免疫学、

<sup>3</sup>米国ラホーヤ免疫アレルギー研究所

OP-14 マウススギ花粉症モデルにおけるCRTH2とDPの役割

野宮 理恵、岡野 光博、檜垣 貴哉、西崎 和則

岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

OP-15 マウス鼻粘膜下へのスギ花粉抗原投与による非特異的IgE産生機構

平野 雅予<sup>1</sup>、吉田 龍太郎<sup>2</sup>、中西 仁美<sup>2</sup>、東野 昌子<sup>1</sup>、  
紀本 有実子<sup>1</sup>、桜井 幹士<sup>1</sup>、窪田 隆裕<sup>2</sup>、竹中 洋<sup>1</sup>

<sup>1</sup>大阪医科大学 耳鼻咽喉科、

<sup>2</sup>大阪医科大学 生理学

OP-16 ヒスタミンH1受容体拮抗薬の神経ペプチド産生抑制作用

～トルエン誘発鼻炎モデルラットを用いての検討～

金井 憲一<sup>1</sup>、浅野 和仁<sup>2</sup>、洲崎 春海<sup>1</sup>

<sup>1</sup>昭和大学医学部耳鼻咽喉科学教室、

<sup>2</sup>昭和大学保健医療学部生理学研究室

OP-17 アレルギー性鼻炎モデルマウスにおける嗅部粘膜障害の検討

尾崎 慎哉<sup>1</sup>、大橋 卓<sup>2</sup>、大野 伸晃<sup>3</sup>、中村 善之<sup>1</sup>、濱島 有喜<sup>1</sup>、  
鈴木 元彦<sup>1</sup>、村上 信五<sup>1</sup>

<sup>1</sup>名古屋市立大学 医学部 耳鼻咽喉科、

<sup>2</sup>愛知県厚生連江南厚生病院、

<sup>3</sup>愛知県厚生連豊田厚生病院

**2月14日(土) 10:25-10:50 アレルギー臨床1 第1会場**

**春名真一(獨協医科大学)**

OP-18 山梨県におけるスギ・ヒノキ花粉観測と花粉症患者動向調査

小澤 仁<sup>1</sup>、渡部 一雄<sup>1</sup>、藤森 功<sup>1</sup>、堀内 博人<sup>1</sup>、大戸 武久<sup>1</sup>、  
島田 和哉<sup>1</sup>、磯野 満<sup>1</sup>、薬袋 勝<sup>1</sup>、高橋 吾郎<sup>1,2</sup>、松崎 全成<sup>1,2</sup>、  
増山 敬祐<sup>1,2</sup>、岡本 美孝<sup>3</sup>

<sup>1</sup>山梨環境アレルギー研究会、

<sup>2</sup>山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科、

<sup>3</sup>千葉大学 医学部 耳鼻咽喉科

OP-19 スギ花粉症患者に対する満足度調査

高木 大樹、高橋 宏尚、暁 清文  
愛媛大学 医学部 頭頸部・感覚器外科学

OP-20 アレルギー性鼻炎患者における喘息合併の検討

宮本 由起子、湯田 厚司、竹内 万彦  
三重大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科

OP-21 花粉症成人有病者と健常成人との分泌型 IgA (S-IgA) 唾液中濃度の比較

榎本 雅夫<sup>1</sup>、岡村 尚昌<sup>2</sup>、津田 彰<sup>3</sup>、本多 達也<sup>4</sup>、山本 哲郎<sup>4</sup>、  
山口 英世<sup>4</sup>

<sup>1</sup>NPO 日本健康増進支援機構、

<sup>2</sup>久留米大学 高次脳疾患研究所、

<sup>3</sup>久留米大学大学院 心理学研究科、

<sup>4</sup>株式会社ティーティーシー

0P-22 酸化ストレス関連遺伝子(CYP1A1)の一遺伝子多型(SNPs)と  
成人スギ花粉症との相関解析

坂下 雅文<sup>1</sup>、広田 朝光<sup>2</sup>、大澤 陽子<sup>1</sup>、人見 裕基<sup>2</sup>、原田 通成<sup>2</sup>、  
玉利 真由美<sup>2</sup>、藤枝 重治<sup>1</sup>

<sup>1</sup>福井大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、

<sup>2</sup>理化学研究所横浜研究所ゲノム医科学研究センター呼吸器疾患研究チーム

## 2月14日(土) 10:50-11:15 アレルギー臨床2 第1会場

洲崎春海(昭和大学)

0P-23 塩酸オロパタジンによるスギ花粉症初期治療群と飛散後治療群の比較検討

牧野 琢丸、小川 晃弘、松本 亮典、宮武 智実

姫路聖マリア病院 耳鼻咽喉科

0P-24 スギ花粉症初期療法におけるロイコトリエン受容体拮抗薬(プラシルカスト)の  
治療効果の検討-第二世代抗ヒスタミン薬との比較-

三輪 高喜、吉崎 智一、古川 侃

金沢大学 医学部 耳鼻咽喉科

0P-25 L-55 乳酸菌含有ヨーグルトのスギ花粉症に対する臨床的有効性の検討-第2報-

赤木 博文<sup>1</sup>、岡田 千春<sup>2</sup>、平野 淳<sup>2</sup>、木村 五郎<sup>2</sup>、宗田 良<sup>2</sup>、  
高橋 清<sup>2</sup>、砂田 洋介<sup>3</sup>、中村 昇二<sup>3</sup>、岡野 光博<sup>4</sup>

<sup>1</sup>独立行政法人 国立病院機構 南岡山医療センター 耳鼻咽喉科、

<sup>2</sup>独立行政法人 国立病院機構 南岡山医療センター 内科、

<sup>3</sup>オハヨー乳業株式会社 企画開発部 基礎研究室、

<sup>4</sup>岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学

0P-26 アレルギー性鼻炎に対するオリゴ糖(ホクレンケストース)投与の効果

内菌 明裕

せんだい耳鼻咽喉科

OP-27 スギ花粉症に対する乳酸菌(KW株)摂取の有効性に関する検討

檜垣 貴哉<sup>1</sup>、岡野 光博<sup>1</sup>、牧原 靖一郎<sup>1</sup>、春名 威範<sup>2</sup>、西崎 和則<sup>1</sup>、  
堀口 茂俊<sup>3</sup>、岡本 美孝<sup>3</sup>

<sup>1</sup>岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学、

<sup>2</sup>住友別子病院 耳鼻咽喉科、

<sup>3</sup>千葉大学大学院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学

**2月14日(土) 11:15-11:45 症例等 第1会場**

**渡邊建介(獨協医科大学)**

OP-28 ミクリツ病における嗅覚障害の検討

高野 賢一<sup>1</sup>、山本 元久<sup>2</sup>、氷見 徹夫<sup>1</sup>

<sup>1</sup>札幌医科大学 医学部 耳鼻咽喉科、

<sup>2</sup>札幌医科大学 医学部 第1内科

OP-29 鼻腔病変を有するIgG4関連疾患症例の検討

水町 貴諭、中丸 裕爾、前田 昌紀、高木 大、福田 諭

北海道大学大学院 医学研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野

OP-30 好酸球性副鼻腔炎の副腎皮質ステロイドの効果

太田 康、金澤 丈治、滝沢 克己、児玉 梢、飯野 ゆき子

自治医科大学 さいたま医療センター 耳鼻咽喉科

OP-31 鼻副鼻腔手術症例におけるRAST陽性症例の検討

瀬野 悟史、柴山 将之、星 恵理子、小河 孝夫、清水 猛史

滋賀医科大学 医学部 医学科

OP-32 IgG4関連硬化性疾患の1症例

太田 伸男、稲村 和俊、鈴木 祐輔

山形大学医学部 情報構造統御学講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野

OP-33 口唇粘液のう胞に対する硬化療法

太田 伸男、深瀬 滋、稲村 和俊、桜井 真一、鈴木 祐輔、  
和気 貴祥、青柳 優

山形大学医学部 情報構造統御学講座 耳鼻咽喉科頭頸部外科学分野

**2月14日(土) 11:45-12:10 感染症 第1会場**

**池田勝久(順天堂大学)**

OP-34 ヒトB細胞抗原受容体と免疫寛容

山田 武千代、窪 誠太、藤枝 重治

福井大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科

OP-35 CpGによるヒトB細胞からのPD-L1とIL-10の発現について

窪 誠太<sup>1</sup>、山田 武千代<sup>1</sup>、高橋 昇<sup>2</sup>、大澤 陽子<sup>1</sup>、藤枝 重治<sup>1</sup>

<sup>1</sup>福井大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、

<sup>2</sup>福井総合病院耳鼻咽喉科

OP-36 小児急性中耳炎・鼻副鼻腔炎におけるhuman bocavirus (hBoV)および  
human metapneumovirus (hMPV)と細菌感染の役割

小上 真史、保富 宗城、レベント ベーダー、デワン ビラール、  
山中 昇

和歌山県立医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科

OP-37 掌蹠膿疱症におけるCD29の発現

上田 征吾、高原 幹、坂東 伸幸、東谷 敏孝、吉崎 智貴、  
原渕 保明

旭川医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科

OP-38 扁桃は人工化学物質が体内に入るときの最初の標的臓器である

久保 和彦<sup>1,2</sup>、小宗 静男<sup>2</sup>

<sup>1</sup>千鳥橋病院 耳鼻咽喉科、

<sup>2</sup>九州大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科

## ポスター

2月14日(土) 9:00-9:30 アレルギー基礎 ポスター会場

清水猛史(滋賀医科大学)

- P-1 ヒト鼻粘膜上皮におけるフィラグリンの局在  
三輪 正人、狩野 信和、山口 晋太郎、岩崎 洋子、廣瀬 壮、  
渡辺 建介  
獨協医科大学 越谷病院 耳鼻咽喉科
- P-2 好酸球性副鼻腔炎症例におけるステロイド受容体の局所発現と結合能  
竹野 幸夫、石野 岳志、平川 勝洋  
広島大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- P-3 抗原感作マウスの鼻粘膜血流および上皮間電位差に対する  
プロスタグランジン D2 受容体の関与  
中島 規幸<sup>1</sup>、三輪 正人<sup>1</sup>、阿部 実恵子<sup>1</sup>、村上 敦史<sup>1</sup>、平井 博之<sup>2</sup>、  
永田 欽也<sup>2</sup>、中村 正孝<sup>3</sup>、渡辺 建介<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>獨協医科大学 越谷病院 耳鼻咽喉科、  
<sup>2</sup>BML 先端医療開発部、  
<sup>3</sup>東京医科歯科大学 疾患遺伝子実験センター
- P-4 PGE2 による慢性副鼻腔炎における好酸球性炎症の制御  
牧原 靖一郎<sup>1</sup>、岡野 光博<sup>1</sup>、檜垣 貴哉<sup>1</sup>、野宮 理恵<sup>1</sup>、春名 威範<sup>2</sup>、  
西崎 和則<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学、  
<sup>2</sup>住友別子病院 耳鼻咽喉科

- P-5 メラノサイト刺激ホルモンによる Cry j 1 特異的ヒト T 細胞応答の制御作用  
春名 威範<sup>1,2</sup>、坂下 雅文<sup>3</sup>、岡野 光博<sup>1</sup>、菅田 裕士<sup>4</sup>、檜垣 貴哉<sup>1</sup>、  
牧原 靖一郎<sup>1</sup>、藤枝 重治<sup>3</sup>、西崎 和則<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岡山大学大学院 医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学、  
<sup>2</sup>住友別子病院 耳鼻咽喉科、  
<sup>3</sup>福井大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科、  
<sup>4</sup>国立病院機構 岩国医療センター 耳鼻咽喉科
- P-6 花粉曝露室を用いた臨床検討の意義に関する検討  
有本 昇平<sup>1</sup>、米倉 修二<sup>1</sup>、堀口 茂俊<sup>1</sup>、花澤 豊行<sup>1</sup>、岡本 美孝<sup>1</sup>、  
横田 匡彦<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学大学院 医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学、  
<sup>2</sup>ウェザー・サービス株式会社

**2月14日(土) 9:30-10:00 アレルギー疫学 ポスター会場**  
**太田伸男(山形大学)**

- P-7 大学生のアレルギー疾患と QOL：それに関わる因子  
南 由優、伊藤 真貴、竹内 紀子、加藤 千晶、荻野 敏  
大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻
- P-8 大阪府におけるアレルギー疾患を有する児童生徒の実態調査  
—アレルギー性鼻炎・花粉症を中心に—  
竹内 紀子<sup>1</sup>、伊藤 真貴<sup>1</sup>、加藤 千晶<sup>1</sup>、荻野 敏<sup>1</sup>、菊守 寛<sup>2</sup>、  
亀田 誠<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻、  
<sup>2</sup>社団法人 大阪府医師会

- P-9 スギ花粉症患者の労働生産性に対する薬剤の影響—JRQLQ、WPAI-AS を用いて—  
伊藤 真貴<sup>1</sup>、竹内 紀子<sup>1</sup>、加藤 千晶<sup>1</sup>、南 由優<sup>1</sup>、荻野 敏<sup>1</sup>、  
有本 啓恵<sup>2</sup>、入船 盛弘<sup>2</sup>、岩田 伸子<sup>2</sup>、大川内 一郎<sup>2</sup>、菊守 寛<sup>2</sup>、  
瀬尾 律<sup>2</sup>、竹田 真理子<sup>2</sup>、玉城 晶子<sup>2</sup>、馬場 謙治<sup>2</sup>、野瀬 道宏<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻、  
<sup>2</sup>NPO 大阪アレルギー・健康支援機構 (OHCASS)
- P-10 スギ花粉症患者における日中の眠気の花粉症症状/QOL への影響  
加藤 千晶<sup>1</sup>、伊藤 真貴<sup>1</sup>、竹内 紀子<sup>1</sup>、南 由優<sup>1</sup>、荻野 敏<sup>1</sup>、  
有本 啓恵<sup>2</sup>、入船 盛弘<sup>2</sup>、岩田 伸子<sup>2</sup>、大川内 一郎<sup>2</sup>、菊守 寛<sup>2</sup>、  
瀬尾 律<sup>2</sup>、竹田 真理子<sup>2</sup>、玉城 晶子<sup>2</sup>、馬場 謙治<sup>2</sup>、野瀬 道宏<sup>2</sup>  
<sup>1</sup>大阪大学大学院 医学系研究科 保健学専攻、  
<sup>2</sup>NPO 大阪アレルギー・健康支援機構 (OHCASS)
- P-11 川崎医科大学におけるアレルギー性鼻炎の現況—昆虫アレルゲンに関する検討—  
文珠 正大<sup>1</sup>、兵 行義<sup>1</sup>、増田 勝巳<sup>2</sup>、福辻 賢治<sup>1</sup>、與田 茂利<sup>1</sup>、  
秋定 健<sup>1</sup>、原田 保<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>川崎医科大学 耳鼻咽喉科、  
<sup>2</sup>赤穂中央病院 耳鼻咽喉科
- P-12 川崎医科大学におけるアレルギー性鼻炎の現況—動物抗原に関する検討—  
兵 行義<sup>1</sup>、文珠 正大<sup>1</sup>、増田勝巳 勝巳<sup>2</sup>、福辻 賢治<sup>1</sup>、與田 茂利<sup>1</sup>、  
秋定 健<sup>1</sup>、原田 保<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>川崎医大 耳鼻咽喉科、  
<sup>2</sup>赤穂中央病院 耳鼻咽喉科

2月14日(土) 10:00-10:25 アレルギー臨床1 ポスター会場

久保 伸夫 (大阪歯科大学)

- P-13 花粉症に対するプラナルカスト水和物追加投与の短期 QOL 改善効果  
菅原 一真<sup>1</sup>、御厨 剛史<sup>1</sup>、橋本 誠<sup>1</sup>、大久保 公裕<sup>2</sup>、山下 裕司<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>山口大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野、  
<sup>2</sup>日本医科大学耳鼻咽喉科
- P-14 花粉症に対するベシル酸ベポタスチン初期治療の QOL 改善効果 (5年間の検討)  
御厨 剛史、菅原 一真、橋本 誠、綿貫 浩一、中本 哲也、  
山下 裕司  
山口大学大学院 医学系研究科 耳鼻咽喉科学分野
- P-15 鼻粘膜におけるヒスタミン H1 受容体発現と初期療法の効果  
牧瀬 高穂、大堀 純一郎、宮ノ原 郁代、松根 彰志、黒野 祐一  
鹿児島大学大学院 医歯学総合研究科 耳鼻咽喉科頭頸部外科
- P-16 スギ花粉症に対する初期療法に関するランダム化比較試験  
—RQLQ 日本語版による QOL の評価—  
高橋 吾郎、松崎 全成、増山 敬祐  
山梨大学 医学部 耳鼻咽喉科・頭頸部外科
- P-17 オロパタジン塩酸塩の投与用量調節によるスギ花粉症初期治療効果の検討  
本間 博友、池田 勝久、楠 威志、古川 正幸、横井 秀格、  
横井 尚子、酒井 陽子、奈良林 修、飯塚 崇、加瀬 香、伊藤 伸、  
大峽 慎一、笠井 美里、春山 琢男、峯川 明、斉藤 達矢、  
岡田 弘子  
順天堂大学 医学部附属順天堂医院 耳鼻咽喉・頭頸科

2月14日(土) 10:25-10:55 アレルギー臨床2 ポスター会場

西崎和則(岡山大学)

- P-18 当科におけるアレルギー性鼻炎に対する抗原特異的免疫療法の現状  
伊藤 周史、内藤 健晴、堀部 智子、三村 英也、長島 圭士郎、  
寺島 万成  
藤田保健衛生大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室
- P-19 小児通年性アレルギー性鼻炎に対する舌下免疫療法の臨床効果の検討  
米倉 修二<sup>1</sup>、吉江 うらら<sup>1</sup>、櫻井 大樹<sup>1</sup>、堀口 茂俊<sup>1</sup>、花澤 豊行<sup>1</sup>、  
岡本 美孝<sup>1</sup>、仲野 敦子<sup>2</sup>、有本 友季子<sup>2</sup>、巖 瑩<sup>2</sup>、工藤 典代<sup>3</sup>、  
中丸 裕爾<sup>4</sup>、本田 耕平<sup>5</sup>  
<sup>1</sup>千葉大学 大学院医学研究院 耳鼻咽喉科・頭頸部腫瘍学教室、  
<sup>2</sup>千葉県こども病院 耳鼻咽喉科、  
<sup>3</sup>千葉県立衛生短期大学、  
<sup>4</sup>北海道大学 医学部 耳鼻咽喉科頭頸部外科学、  
<sup>5</sup>秋田大学 医学部 感覚器学講座耳鼻咽喉科
- P-20 JRQLQ(NO. 2)によるスギ特異的免疫療法の有効性の検討-2008年での解析-  
野山 和廉<sup>1</sup>、岡野 光博<sup>1</sup>、山本 美紀<sup>2</sup>、春名 威範<sup>1</sup>、檜垣 貴哉<sup>1</sup>、  
牧原 靖一郎<sup>1</sup>、野宮 理恵<sup>1</sup>、西崎 和則<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>岡山大学 大学院医歯薬学総合研究科 耳鼻咽喉・頭頸部外科学、  
<sup>2</sup>高知医療センター 耳鼻咽喉科
- P-21 アデノイドにおける局所免疫反応とアレルギー性鼻炎との関連性  
櫛原 崇宏<sup>1</sup>、兵 佐和子<sup>1</sup>、寺田 哲也<sup>2</sup>、芝山 雄老<sup>3</sup>、竹中 洋<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>大阪医科大学 耳鼻咽喉科学教室、  
<sup>2</sup>洛和会 音羽病院 耳鼻咽喉科、  
<sup>3</sup>大阪医科大学 病理学教室

P-22 IgA 腎症患者の扁桃リンパ球における  $\beta 1$  インテグリンファミリーの発現について  
東谷 敏孝、高原 幹、上田 征吾、吉崎 智貴、坂東 伸幸、  
原渕 保明  
旭川医科大学 耳鼻咽喉科頭頸部外科

P-23 スギ花粉飛散期の飛散状況分析  
渡辺 哲生、鈴木 正志  
大分大学 医学部 耳鼻咽喉科学講座

**2月14日(土) 10:55-11:25 腫瘍、ほか ポスター会場  
家根旦有(奈良県立医科大学)**

P-24 当科におけるNK/T細胞リンパ腫の検討  
中村 紘子、中丸 裕爾、福田 諭  
北海道大学大学院 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学分野

P-25 鼻性NK/T細胞リンパ腫細胞株における可溶性ICAM1の解析  
高原 幹、岸部 幹、石井 秀幸、片山 昭公、林 達哉、原渕 保明  
旭川医科大学耳鼻咽喉科・頭頸部外科

P-26 上咽頭癌におけるEBV-LMP1特異的な細胞障害性T細胞(CTL)活性化機構に関する  
基礎的研究  
脇坂 尚宏、吉崎 智一  
金沢大学大学院医学系研究科 感覚運動病態学

P-27 EBウイルス性扁桃炎に併発した小脳失調の1例  
鈴木 祐輔、太田 伸男、青柳 優  
山形大学 医学部 耳鼻咽喉科

- P-28 喉頭浮腫を伴った systemic lupus erythematosus (SLE) の1例  
三村 英也、伊藤 周史、堀部 智子、長島 圭士郎、内藤 健晴  
藤田保健衛生大学 医学部 耳鼻咽喉科学教室
- P-29 鼻副鼻腔疾患に合併する下気道病変の検討—手術症例を中心に—  
安田 誠<sup>1</sup>、萌拔 陽子<sup>1</sup>、浜 雄光<sup>1</sup>、細木 誠之<sup>2</sup>、上田 幹夫<sup>2</sup>、  
有本 太一郎<sup>2</sup>、岩崎 吉伸<sup>2</sup>、久 育男<sup>1</sup>  
<sup>1</sup>京都府立医科大学 耳鼻咽喉科・頭頸部外科学教室、  
<sup>2</sup>京都府立医科大学 内科学教室 呼吸器内科部門